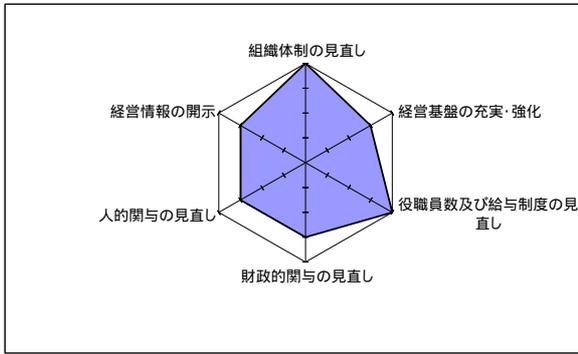


# 出資法人及び県所管課による評価(1次評価)

取組の評価分布図



個別取組項目の評価総括表

南レク(株)

| 取組項目           | 取組の目標達成の評価  |
|----------------|-------------|
| 組織体制の見直し       | 十分達成している。   |
| 経営基盤の充実・強化     | ある程度達成している。 |
| 役職員数及び給与制度の見直し | 十分達成している。   |
| 財政的関与の見直し      | ある程度達成している。 |
| 人的関与の見直し       | ある程度達成している。 |
| 経営情報の開示        | ある程度達成している。 |

## 1 出資法人の自主性・自律性の向上に向けた取組

| (1) 組織体制の見直し   | 【評価：十分達成している。】   |
|--|--|
| 21年度2次評価に対する対応   | <p>高速道路南予延伸を見据え、津島やすらぎの里に設置した南予観光情報センターを本格稼働させ、南レク施設との連携を強めるとともに、南予地域の観光情報の集約化と地域住民サービスの向上を図る。中核施設である南楽園については、施設管理をより効率的に推進するため園長を置く。また、企画営業部に広報担当を選任し効率かつ効果的に情報収集・広報活動を行なう。</p>   |
| 改革期間(平成18~21年度)を通じての実績・取組事項<br>(下線部分は21年度の実績・取組事項)                 | <p>指定管理者制度への移行や、ロープウェイ廃止など事業の縮小を考慮し、「希望退職制度」「退職勧奨」により正規職員の削減を行った。これにより、正規職員を最小人員にとどめ、臨時職員(非正規雇用)に雇用変更することで、大幅に人件費を削減した。<br/>また、職員(臨時含む)に対しては、研修会や講習会に積極的に参加させるとともに、業務に関係する資格取得を奨励し、職員の資質向上に努めている。<br/>H19年度より効率的な組織体制を構築するため、施設の整備等に応じた柔軟な管理体制を整えた。また、経営改善を先導する3チームを編成し、意識改革チーム、節約推進チーム、新規事業チームにより一定の成果を達成した。<br/>H20年度より企画営業部に観光課を設置し、地域密着型エージェント「南レク観光」を始動し、南予の観光振興の拠点としての役割向上に努め、地域の活性化に貢献できるよう取り組むとともに、H20年10月から、宇和島市の温泉施設「津島やすらぎの里」を受託管理し、南レク施設と一体となった集客の増加を図っている。<br/>H21年度は、南予の観光施設の拠点及び地域活性化に寄与すべく「南予観光情報センター」開設準備室と、南レク公園施設の有用資源を活用や付加価値を創造するため、商品開発課を設置した。</p> |
| 個別取組項目の目標の達成区分の評価選定理由<br>(上記評価に至った理由を、取組指標や上記実績・取組事項を踏まえて記載してください) | <p>指定管理者移行後、職員の削減により大幅な人件費の削減を達成している。また、職員研修により職員の資質向上にも努めている。依然として厳しい経営環境を踏まえ、柔軟な組織体制を整えている。また、「南レク観光」や「津島やすらぎの里」の新たな事業展開により、近隣観光施設及び南レク施設と一体化した情報を発信するエージェントセールスに努め集客促進に努めている。</p>   |

| (2) 経営基盤の充実・強化   | 【評価：ある程度達成している。】  |
|--|---|
| 21年度2次評価に対する対応   | <p>営業部に広報課を設置することにより、全国的に南レク施設の認知度を広め集客を推進する。南楽園の花の周年化を継続していくことにより、花のイベントと併せたイベント(例：座敷敷)を推進し、旅行者に魅力ある施設をアピールし利用者増加を図る。<br/>津島やすらぎの里は21年度から通年営業となり、利用者、売上げともに増加し、営業収支も経費節減により改善が図られている。今後もイベントの共催など地元との連携をはかっていくこととしている。<br/>サンパル観光利用促進策として、南レク施設と一体となった営業を展開するとともに、当社社員によるサンパルイベント(ビアバイキング券販売など)協力、結婚カップル紹介等の協力を図っていく。</p>  |
| 改革期間(平成18~21年度)を通じての実績・取組事項<br>(下線部分は21年度の実績・取組事項)                 | <p>H19年度に資本金を15億から4億に減資して繰越欠損金を一掃し、対外的に信用を回復した。また、子会社サンパル観光についても、H18年度中に資本金を8億5千万円から8千5百万円へ減資した。<br/>H18年度より、年間を通しての集客を促進するため、南楽園の花の周年化に着手し、現在も継続中である。H18年度より、ホームページをリニューアルして南レク施設の情報発信機能の向上に努めている。H19年度には国内旅行業免許を取得し、H20年度より本格的に始動することにより、南レク施設及び近隣観光施設を絡めたツアーの企画を実施し、南予地域への誘客活動に努めている。また、H20年10月より、「津島やすらぎの里」を受託することにより、南レク施設と一体となった営業を展開している。<br/>H21年度は、主要施設南楽園の施設の充実を図るため、遊歩道整備、万葉植物の植栽、絶景ポイントの石版設置、地元彫刻家や創作人形作家の個展の開催した。また、愛南町馬瀬地区で紫電改引揚げ30周年記念イベントを実施したほか、宇和海展望タワーを、お盆、お正月期間中に夜間ライトアップし、帰省客、観光客、地元住民にPRを図った。尚、H18年度より取組んでいる、諸経費の削減は継続中である。</p> |
| 個別取組項目の目標の達成区分の評価選定理由<br>(上記評価に至った理由を、取組指標や上記実績・取組事項を踏まえて記載してください) | <p>H18年度末1,021百万円あった繰越欠損金は、資本金15億円から4億に減資して一掃した。子会社サンパル観光についても同様に減資して累積損失を解消した。ホームページにおいても、イベント告知、の更新や、特に南楽園花の開花状況等については、随時更新するとともに、近隣の観光施設のホームページとリンクできるシステムも整えた。現在は「南レク観光」「津島やすらぎの里」の新規事業も軌道にはのっていないが、南予観光施設の集客促進、南レク施設を絡めたツアーの企画及び高知西南地区一体の営業戦略により、利用者増加を図っている。また、高速道の南予延伸を見据え、南レク主要施設南楽園を重点的に整備し、リピーター客の促進に努めると共に、有用資源を活用した梅酒等にも着手している。</p>   |

| (3) 役職員数及び給与制度の見直し                                 | 【評価：十分達成している。】   |
|--|--|
| 21年度2次評価に対する対応                                     | 2次評価提言事項なし   |
| 改革期間(平成18~21年度)を通じての実績・取組事項<br>(下線部分は21年度の実績・取組事項) | <p>役員数については、17年度当初の17名から18年度は12名に減少した。19年度は取締役1名退任により11名とした。20年度は旅行業を開始したため、業界の精通者から意見を徴するため増員し13名、21年度は12名とした。<br/>社員数は17年度47名であったが、18年度は早期希望退職、退職勧奨などにより29名とした。19年度は、国内旅行業取得にあたり、旅行業務取扱者が必要のため1名増員し30名とした。H21年度は、自己都合退職により2名減少し28名となった。<br/>社員基本給は、18年度は基本給前年比30%カットし、そのカット分については業績や業務評価により支給することに变更し、総額で前年比15%削減した。19年度は、社員基本給は17年度ベースに戻したが、総支給額は、賞与支給水準の圧縮により18年度ベースに留めた。20年度は、昇給凍結及び業績の支給に応じた賞与の支給をすることで、人件費を圧縮した。21年度も同様である。</p> |

|  |   |
|--|---|
| <p>個別取組項目の目標の達成区分の評価選定理由<br/>       〔 上記評価に至った理由を、取組指標や上記実績・取組事項を踏まえて記載してください。 〕</p> | <p>役員数については、H17年度当初より5名削減し12名にするとともに、職員定数も、H17年度当初47名から19名削減し、28名とし経営効率化を図った。職員の給与についても、南レク施設の利用者の減少が続いていることで、職員のベースアップを行わず、賞与に関しても、低水準で推移している。</p> |
|--|---|

## 2 県の関与の適正化に向けた取組

|  |   |
|--|---|
| (1) 財政的関与の見直し  | 【評価：ある程度達成している。】  |
| 21年度2次評価に対する対応   | 津島やすらぎの里の通年営業などで増収を図るとともに、諸経費の削減に努めており、県の管理委託料への依存度を軽減している。<br>今後の南レクのあり方については、地元市町が主体の「ホッと南レク活性化全体協議会」において検討を重ねており、さらに市町への移譲の可能性についても引き続き検討する。                   |
| 改革期間(平成18～21年度)を通じての実績・取組事項<br>(下線部分は21年度の実績・取組事項)                                   | 18年度より指定管理制度の導入により、効果的な施設運営と適切な収入の確保、経費節減を図り、県からの委託料を削減している。<br>また、地域住民の利用度が高い施設については、地元市町への移譲を行っており、21年4月には4号公園の多目的広場を宇和島市へ、5号公園のテニスコートと多目的広場を愛南町へそれぞれ無償譲渡としている。 |
| <p>個別取組項目の目標の達成区分の評価選定理由<br/>       〔 上記評価に至った理由を、取組指標や上記実績・取組事項を踏まえて記載してください。 〕</p> | 指定管理制度に基づき、県からの南レク施設管理委託業務を効率的に実施するとともに、津島やすらぎの里や旅行業など新たな収入確保に取り組んでおり、県からの管理委託料は年々減少している。   |

|  |  |
|--|--|
| (2) 人的関与の見直し   | 【評価：ある程度達成している。】   |
| 21年度2次評価に対する対応   | 2次評価提言事項なし   |
| 改革期間(平成18～21年度)を通じての実績・取組事項<br>(下線部分は21年度の実績・取組事項)                                   | 県職員OBの役員就任は代表取締役社長1名だったが、20年度から子会社のサンパール観光㈱社長で南レク㈱の取締役として1名増員となった。 |
| <p>個別取組項目の目標の達成区分の評価選定理由<br/>       〔 上記評価に至った理由を、取組指標や上記実績・取組事項を踏まえて記載してください。 〕</p> | 県職員はOBの役員就任2名のみである。  |

## 3 経営情報等の積極的な開示に向けた取組

|  |   |
|--|---|
| 経営情報の開示  | 【評価：ある程度達成している。】  |
| 改革期間(平成18～21年度)を通じての実績・取組事項<br>(下線部分は21年度の実績・取組事項)                                   | 貸借対照表、損益計算書は、南レクホームページで公開するようになった。また、取締役会において県出資法人点検評価部会による答申を説明している。 |
| <p>個別取組項目の目標の達成区分の評価選定理由<br/>       〔 上記評価に至った理由を、取組指標や上記実績・取組事項を踏まえて記載してください。 〕</p> | 会社概要や決算の状況(貸借対照表、損益計算書)をホームページで公開している。                                |

## 4 総合的評価

|  |
|--|
| <p>【総括】<br/>       社員の意識改革、組織再編、人員の合理化や業務の見直し等の経営努力により、経費削減の効果をあげているが、依然として南レク施設の利用者数や売上は伸び悩んでいる。このため、新たに指定管理者となった「津島やすらぎの里」など地元の観光資源との連携などにより利用促進に取り組んでいるところである。</p> <p>【今後の課題等】<br/>       高速道路の南予延伸を見据えて、魅力ある施設づくりを進めるとともに、スポーツ合宿の誘致や旅行業による新商品の開発、地元の観光資源との連携など、積極的な経営展開が求められる。</p> |
|--|